

◎ あなたが思うバリアフリーとは？

～北部ブロック弁論大会～



12月12日(火)、吉井中学校で「北部ブロック弁論大会」が開催されました。これは、佐世保市中学校連盟が主催し、市内の中学校を「北部」「中部」「南部」の三つのブロックに分けて、毎年12月の第2火曜日に行われているものです。中里中学校は北部地区9校のブロックに入っており、今年は2年生の吉居真珠子さんが代表として弁論を行いました。

演題は「壁を越える」。私たちがよく耳にする「バリアフリー」という言葉。吉居さんは弁論の中で次のように訴えました。

バリアフリーの意味は、はたして障がいを持った方が生活しやすいように、設備を整えることなのではないでしょうか。私は、そうではない

ように思います。この言葉の指す意味は、設備面だけの健常者と障がい者の壁をなくすることではなく、健常者と障がい者の間にある心の壁をすべて取っ払うことだと思います。

さらに、特別支援学校との居住地交流の体験を交えながら、心のバリアフリーの大切さを述べ、最後は次のようにまとめました。

私は、日本中のすべての場所をバリアフリーにする方法がないわけではないと思うのです。「大丈夫ですか」「手伝いましょうか」。困っている姿を見た周りの人が声をかけ、手を差し伸べればいいのです。たとえどんな設備の壁があろうとも、きっと乗り越えられるはずです。壁を越えよう。壁を壊そう。私たちには必ずできるはずです。

中学生らしい視点で、現代の社会の問題を考えるすばらしい弁論でした。と同時に、ぜひこの思いを実践できる子どもたちを育てていくのが、大人の責任であると強く思いました。

◎ 倍率に心揺れる受験生！

本日(12/19)の新聞の朝刊に、12月1日に実施した公立高校進学希望状況が掲載されました。

10月に実施した前回の状況からかなりの変動が見られ、「合格」をめざす受験生の不安定な心の状況が垣間見えました。進路希望状況の調査は今回が最後になります。この結果を見て、また進路希望の変更を考える3年生もいるのではないかと思います。

前回も書きましたが、倍率に一喜一憂することなく、自分が「**本に行きたい高校**」を受験し合格をつかんでほしいと思います。**頑張れ、3年生！**

＜近隣高校の希望状況＞

高 校	定員	前回希望者数 → 今回希望者数
佐世保北高校	120	129 → 121
佐世保西高校	240	270 → 247
佐世保工業高校	240	325 → 252
佐世保商業高校	200	236 → 205
清峰高校	160	224 → 187

◇教育コラム◇

「人を見る目」

神奈川県座間市の事件で気になったのは、被害者との接点がSNSであったことだ。悪意を持ってわなを仕掛けるような人間はこれまでもいたわけだが、スマートフォンの普及やSNSによってコミュニケーションの形が激変した。年齢や居住地に関係なく、不特定多数の他者と接触する機会は飛躍的に拡大している。

座間市の事件に限らず、SNSが絡んだ犯罪では児童生徒が被害者となることも多い。子どもたちの安全を守るという観点からは、急激なコミュニケーション環境の変化に対して大人社会が十分に対応できていなかったのではないだろうか。

インターネット上に潜む危険やSNS利用のマナーの周知を進めることは、もちろん必要だ。被害に遭いそうになったり悩んだりしたときに駆け込める、安全な場の整備も重要だろう。ただ、根本的には、相手の悪意や狙いを見極める「人を見る目」を子どもたちに養ってほしいと願う。

(「内外教育」より)

